

ワイヤレスブロードバンド実現のための周波数確保等に関する意見

| | |
|-------|-----------|
| 意見提出元 | 株式会社テレビ大分 |
|-------|-----------|

| 意見項目 | 意見内容 |
|---|---|
| (1) ワイヤレスブロードバンドの今後の展望 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 私ども放送事業者は放送もワイヤレスブロードバンドの一つと認識しております。 ・ 放送事業者は800M帯、7G帯、10G帯のFPUを使用しておりますが、それぞれの伝搬特性の違いにより、用途を使い分けております。この中でも800M帯のFPUは見通し外伝送に強いため、諸外国に比べ複雑な地形の我が国におきましては、マラソン中継や駅伝中継には無くてはならない伝送手段となっております。 ・ また、懸案であった800M帯FPUでの高精細（HD）映像伝送も技術的に解決されたため、今後益々利用されると思われれます。 |
| (2) ワイヤレスブロードバンドを実現するための課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 放送事業者は固定局で使用していた3.4～3.6GHz帯を返上し、別のマイクロ波帯への移行計画を進めております。従いまして、我が国の次世代ワイヤレスブロードバンドは3.4～3.6GHz帯が中心になると考えます。 ・ 800MHz帯はラジオマイク（A型、B型）でも使用しておりますが、ラジオマイクは放送事業者に限らず、広く（コンサート、イベント、公共施設等で）使用されており、その台数もおびただしい数にのぼります。このため、周波数再編を実施するには経済的に多大な負担が掛かるだけでなく、長期の移行期間が必要となると思われれます。 |
| (3) 関連する国内外の動向と課題 | |
| (4) その他、将来のワイヤレスブロードバンドによるサービスやシステムに関する事項 | |